

## 注目ポイント！

灘、伏見と並ぶ名高い銘醸地西条。

全国でも珍しい酒をテーマにした“酒まつり”を実施。

赤レンガの煙突が立ち並ぶ酒蔵どおりを中心とした地域の活性化。



酒まつり来場者数が約12万人(H7)から約23万人(H17)に！



酒まつりでの酒ひろば

## コラム

酒都西条の蔵元の一つを営むかたわら、西条酒造組合理事長や観光協会理事、酒蔵地区まちづくり協議会の代表としても活躍する酒造業界のリーダー役。酒まつりを市民の祭りとして大きく発展させた貢献も大きい。「酒まつりにはまちおこしの素材がいっぱいある。」と酒蔵地区の保全と活用によって地域と商業の活性化に結びつけていきたいと意欲を燃やしている。



賀茂泉酒造(株) 蔵主  
前垣 壽男氏

## これまでの経緯

- 昭和47年(1972) 西条酒の高揚と日本酒の振興を図るため、酒造祈願祭を「西条さけまつり」として一般に開放する。
- 昭和49年(1974) 4町(西条、八本松、志和、高屋)が合併し、東広島市が誕生する。
- 昭和54年(1979) 合併による地域の一体感を醸成するため「みんなのまつり」を開催する。
- 平成元年(1989) 「酒蔵のあるまち並み」が手づくり郷土賞を受賞する。
- 平成2年(1990) 「みんなのまつり」と「西条さけまつり」を一体化し、「酒まつり」として実施する。
- 平成11年(1999) 酒蔵地区の整備を盛り込んだ「中心市街地活性化基本計画」を策定する。
- 平成12年(2000) 「西国街道散策マップづくり」ワークショップを開催、西国街道マップを作成する。
- 平成13年(2001) 「酒蔵通りふぁんくらぶ」による酒蔵通りライトアップ大作戦が実施される。初の「西条四日市」を開催、以降毎月4日に市を開催する。
- 平成15年(2003) 若手商業者による「西条倶楽部」が発足。酒蔵地区周辺で「西条日曜商店街」を開催する。
- 平成16年(2004) 「ようこそ醸華町西条」を開催する。
- 平成17年(2005) 1市5町が合併し、新生「東広島市」が誕生する。酒蔵通り一部区間の道路美装化が完成する。

当該地域は「わたしの旅100選」(平成17年)の特別賞として選定されたプランに含まれています。

## 主な取り組み

### 酒まつり(酒ひろば、美酒鍋コーナー)

毎年10月第2日曜日とその前日に開催する“酒まつり”。全国の約900銘柄の日本酒の試飲ができる「酒ひろば」や酒、塩、こしょうだけで味をつけた名物料理「美酒鍋」が味わえるコーナーなどがある。各蔵元も様々なイベントを行い、毎年20万人以上の観光客が集まる。



酒ひろばに並ぶ全国の地酒

### 酒蔵通り～景観保全の取り組み～

JR西条駅前では旧山陽道沿いに8社の日本酒の蔵元が集中。白壁となまこ壁、15本の赤レンガの煙突が立ち並び、仕込み時期には、ほのかに酒の香りが漂う。地元住民、商業者、酒造組合で組織した「酒蔵地区まちづくり協議会」において、観光を意識したまちづくりを話し合い、道路の美装化などを実施。



なまこ壁と赤レンガの煙突

### ようこそ醸華町西条

じょうかまち

土日祝に、西条駅周辺にある蔵元や商業者が各々趣向を凝らしたおもてなしをする“ようこそ醸華町西条”を実施。酒蔵見学や吟醸酒の試飲、観光ボランティアガイドの会による酒蔵通りの案内が行われている。また、仕込みに使われる井戸水を来訪者が試飲できるよう整備されている。



仕込み水試飲施設

### 西国街道を活かした取り組み

西国街道は、酒蔵通りを含む旧山陽道の呼び名。女性グループが中心となり、江戸時代の四日市の地名にちなんで開催する「西条四日市」、若手商業者や学生などによる「西条倶楽部」、酒蔵通りに関心を持つ市民の有志による「酒蔵通りふぁんくらぶ」など、住民主体によるまちづくりの様々な取り組みが行われている。



イベント「ゆらめかナイト」

#### 問い合わせ先

東広島市商業観光課

Tel : 082-420-0941

<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp>

社団法人東広島市観光協会

Tel : 082-420-0310

<http://www.hh-kanko.ne.jp/>